



校訓 健 根 信

R3年度 学校教育目標

『豊かな心』を持ち、主体的に考え・判断し、より良く生きる宮っ子の育成

氷川町立宮原小学校

No. 21 令和4年2月7日号

文責 田原里惠

2月に入り、早1週間が過ぎました。

新型コロナウイルス感染症オミクロン株が急拡大し、本校でも2日間の臨時休校を行いました。1・2月に予定していたさまざまな活動・行事(中学校入学説明会・小学校入学説明会・クラブ活動、ゲストティーチャーを招いた授業や読み聞かせ等など...)も延期・中止になっています。子どもたちも、しっかりとマスクを着用し、手洗いを行い、換気に努めています。ご家庭でも、不要不急の外出を控えていただきたい、本人のみならず家族の誰かが体調が優れないときは自宅で待機をしていただいている。早めの対応に本当に感謝しています。いつ、誰が感染するかわからない状況が続いています。しっかりと感染防止対策を継続するとともに、感染された方、家族を憶測で判断したり、うわさ話をしたりするがないよう、これからもよろしくお願ひします。



テレビ等の報道でもありますように、マスクは鼻まで覆う大きさのものがよいようです。子どもたちには、学校で、齊藤養護教諭が、「正しいマスクのつけ方」について指導をしております。大きすぎる場合は、ホッキスでマスクの横をちょっととつまんで止めるといいそうです。逆に小さすぎたり、耳にかけるゴムやひもが伸びたりしていると鼻が十分に覆えない状態になります。大変だと思いますが、マスクの大きさにも気を配っていただけたら…と思います。よろしくお願ひします。

2月もあつという間に半ばを迎えます。卒業式・修了式まで数えてみると30日ぐらいの登校です。早く新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が緩やかになり、有意義な活動を行っていけたらと思います。

木製ベンチをいただきました。

先日(1月26日)、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金様から木製ベンチを寄贈していただきました。これは、「阿蘇大観の森」から広葉樹を植樹するために間伐し搬出された木材(杉)を利用して製作した「木製ベンチ」で、宮原小を含め県内の小学校へ寄贈されました。このベンチは、阿蘇中央高等学校グリーン環境科の生徒の皆さんが製作されたそうです。特徴は、子どもたちの安全を第一に考え、木材の角に丸みをつけ、釘を一切使わない「日本古来の家屋建築の工法」で製作されているとのことです。第1校舎と第2校舎をつなぐ2階の渡り廊下に設置しました。今はコロナ禍で、ベンチに座ってゆっくりおしゃべりすることも少ないので、昼休みなどゆっくりした時間をこのベンチで過ごしてほしいなと思います。



JRCオンライン語り部2021に参加しました。

2月1日、「JRCオンライン語り部2021」に3年生と4年生が参加しました。これは、日赤宮城県支部が主催した学習で、東日本大震災で被災された語り部の方の講話を聴き、命の大切さや日頃からの備えについて考えようというものです。本町出身の佐藤美香さんの紙芝居講話を聴きました。その後、それぞれの学級で考えたことなどを発表しました。さらに、3年生、4年生の学級代表がお互いのクラスに行き、そこで感想を発表し、聞いていた学級の皆からの発表の返しをもらいました。

佐藤さんの紙芝居講話を聴いて考えたことも貴重な経験でしたし、互いの学級で意見交流したことも良い学びとなったようでした。



「学校情報化優良校」認定!!

「学校情報化優良校」とは、「情報化の推進体制」を整え、「教科指導におけるICTの活用」「情報教育」「校務の情報化」に積極的に取り組んでいる学校のことです。宮原小は11月に認定されました。これまで積極的にICTを活用していますが、授業においてより効果的にタブレット等を活用できるようにこれからも取り組んでいきます。



認定証です

氷川町内5校とともに、今年度「学校情報化優良校」に認定されました。